

ニュースレター

創刊号

ご挨拶

女性医師・研究者支援室長 前田美穂

最近では、医学部の学生の三分の一以上が女性であり、これからの医療現場では女性医師・研究者の活動が期待されますが、女性が妊娠、出産、育児といったライフイベントをこなしながら活躍できる環境の整備はまだまだ整っていないのが現状です。日本医科大学では待望の女性医師・研究者支援室が平成27年1月1日に設置され、平成27年4月1日に活動が開始されました。女性医師・研究者が男女の違いなく、診療、研究、教育に従事出来ることを目指して、本支援室が設立されました。近い将来は女性だけではなく、全ての医師・研究者、学生の支援を考えていける場所をめざしております。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ベビーシッター派遣支援事業『マザーネット』導入 一病児 病後児 残業 当直一

女性医師・研究者支援室は、「女性医師・研究者育児支援活動」の一環として、株式会社マザーネットと法人契約を結び、ベビーシッター派遣型の育児支援を行う準備を進めています。事前にお子様の会員登録を行い、急な発熱や病気(感染症含む)により保育園に登園できない、または保育園から連絡が来た場合などに、電話やEmailなどで予約をすれば、ケアリストがご自宅や保育園に出向き、病気のお子様のケアを行います。対象も当直などで留守となる場合や、急な手術や患者さんの急変の対応業務、日直などにも利用できるように調整を進めています。

ホームページ開設

<http://www.nms.ac.jp/shien/>

日本医科大学オープンキャンパスにてPR活動



これまでの取組み・会議

- ・第1・2回女性医師・研究者支援室設置検討会議 (平成26年11月、平成27年1月)
- ・「平成26年度医学生・研修生・女性医師をサポートするための会」日本臨床内科医会主催・当支援室共催 (平成27年3月)
- ・第1回女性医師・研究者支援室運営委員会拡大会議 (平成27年5月)
- ・第3・4回女性医師・研究者支援室会議 (平成27年4月、平成27年7月)
- ・育児支援小会議 (平成27年7月)

2015年度活動計画

- ・ホームページ開設
- ・ニュースレター創刊
- ・ワーク・ライフ・バランスに関する相談室の設置
- ・授乳・搾乳室の設置
- ・保育所入所に関する整備
- ・マザーネット導入
- ・日本医科大学女性医師・研究者シンポジウム開催

相談室

プライバシーが守れる個室で相談員がお話をうかがいます。研究のこと育児のこと困っていることがありましたら、ひとりで悩まずにご相談ください。

ご相談フォーム：<http://www.nms.ac.jp/shien/>

授乳・搾乳室

育児休暇明けで搾乳の必要な方や大学へ手続き等にお越しになる方の為に搾乳授乳スペースを設置しました。登録が必要となります、ご利用の方はお問い合わせください。

ミニ文庫

キャリア形成や働くママに参考となる書籍を寄付いただき、新たに推薦本も取り揃えました。貸出も致します。

日本医科大学女性医師・研究者支援室
ご案内

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
フラット千駄木301号
(法人本部健診センター駐車場となり)

TEL : 03-3822-2131 (大代表)

5925 (内線)

03-5814-6908 (直通)

FAX : 03-5814-0051

Email : nms-shien@nms.ac.jp

URL : <http://www.nms.ac.jp/shien/>